

イーストスプリング インド投資マンスリー

2023年7月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

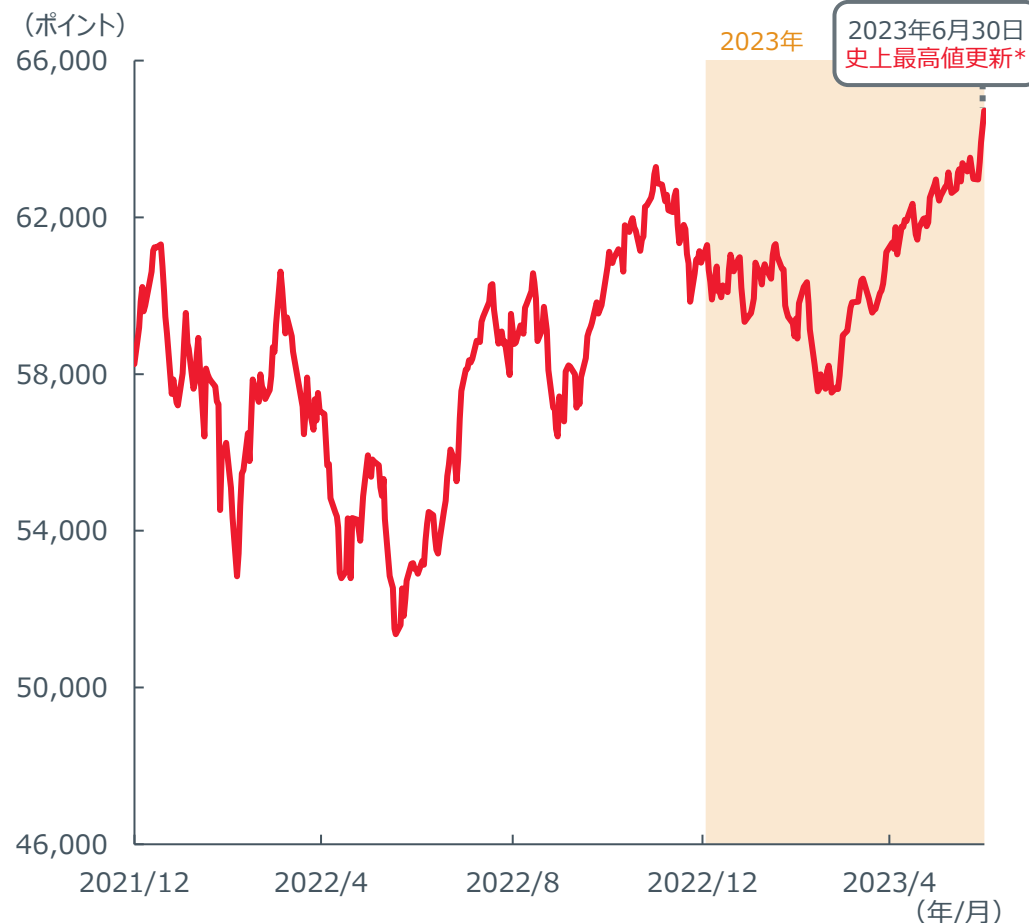
英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社である
ブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

230705(04)

株式：海外機関投資家からの資金流入継続、史上最高値更新

SENSEX指数の推移（2021年12月末～2023年6月末、日次）



2023年6月の振り返り

インド株式（SENSEX指数）は、3.3%上昇し、30日に史上最高値（終値ベース）を更新しました。

サイズ別では、中型株と小型株はそれぞれ6.2%、6.8%と大型株を上回る上昇となりました。

海外機関投資家からの資金流入が堅調であることや、5月末に発表された1-3月期の実質GDP成長率が市場予想を上回ったこと、インフレが落ち着いていることなどが株価の上昇要因でした。また、住宅金融大手HDFCが子会社であるHDFC銀行と合併し、国内最大級の金融サービスグループが誕生したというニュースも投資家心理を押し上げました。

セクター別では、全てのセクターで上昇、特に資本財、ヘルスケア、不動産が好調でした。売買動向では、国内機関投資家、海外機関投資家ともに買い越しました。

規模別指数の期間別騰落率（2023年6月末時点）

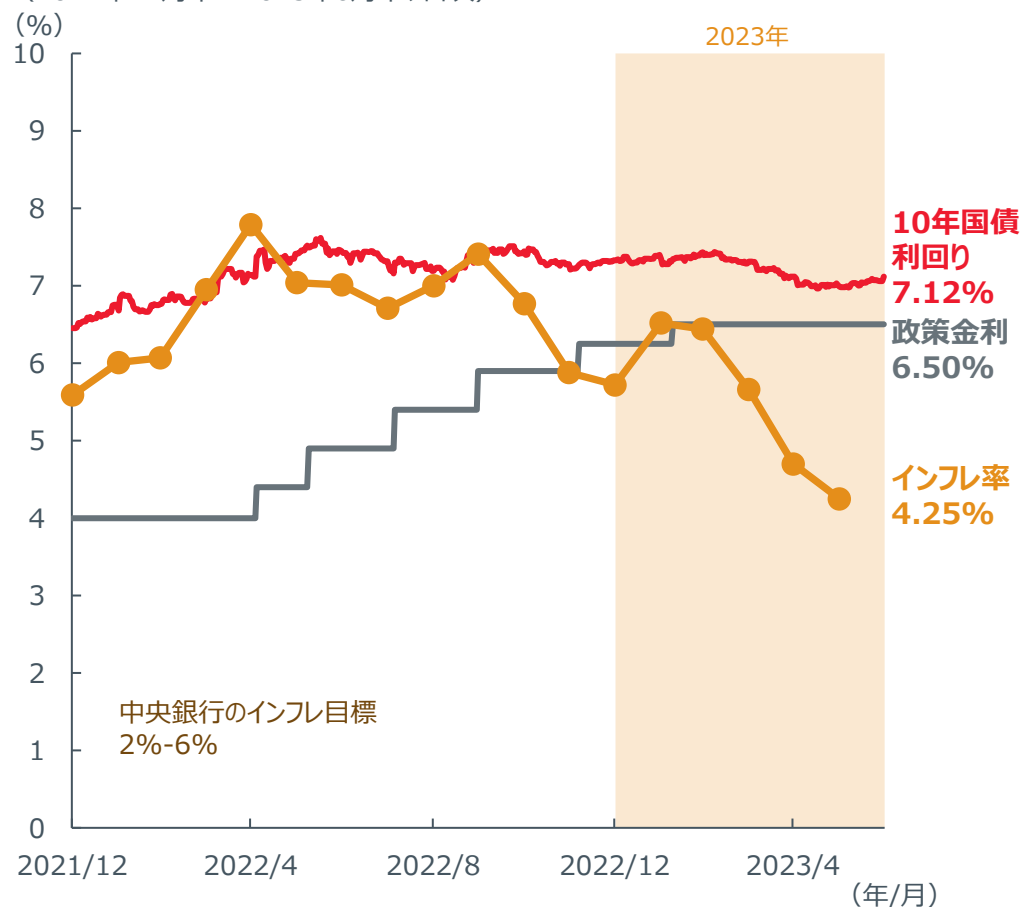
	1ヵ月間	3ヵ月間	6ヵ月間
大型株 (SENSEX指数)	3.3%	9.7%	6.4%
中型株 (BSE中型株指数)	6.2%	19.6%	13.7%
小型株 (BSE小型株指数)	6.8%	20.9%	12.7%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。

債券：インフレ率は低下、10年国債利回りは上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2021年12月末～2023年6月末、日次)



2023年6月の振り返り

10年国債利回りは上昇（価格は下落）し、7.12%となりました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）は、8日に終了した金融政策決定会合で、市場の予想どおり全会一致で政策金利を6.50%に据え置きましたが、当面の引き締め環境継続を示唆したことから債券価格は下落しました。また、FRB（米連邦準備制度理事会）が年内の追加利上げを示唆し、米国債の利回りが断続的に上昇したことなども、インド国債利回りの上昇要因となりました。

12日に発表された5月のインフレ率は、前年同月比+4.25%と25ヵ月ぶりの低水準となりました。また、食料品価格（除く野菜）のインフレ率は穀物や食料油の価格下落を背景にコロナ後の最低水準まで低下しました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2023年 6月末	2023年 5月末	変化幅
10年国債利回り	7.12%	6.99%	0.13%
10年社債利回り***	7.67%	7.59%	0.07%
利回り差	0.55%	0.61%	-0.06%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2023年5月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

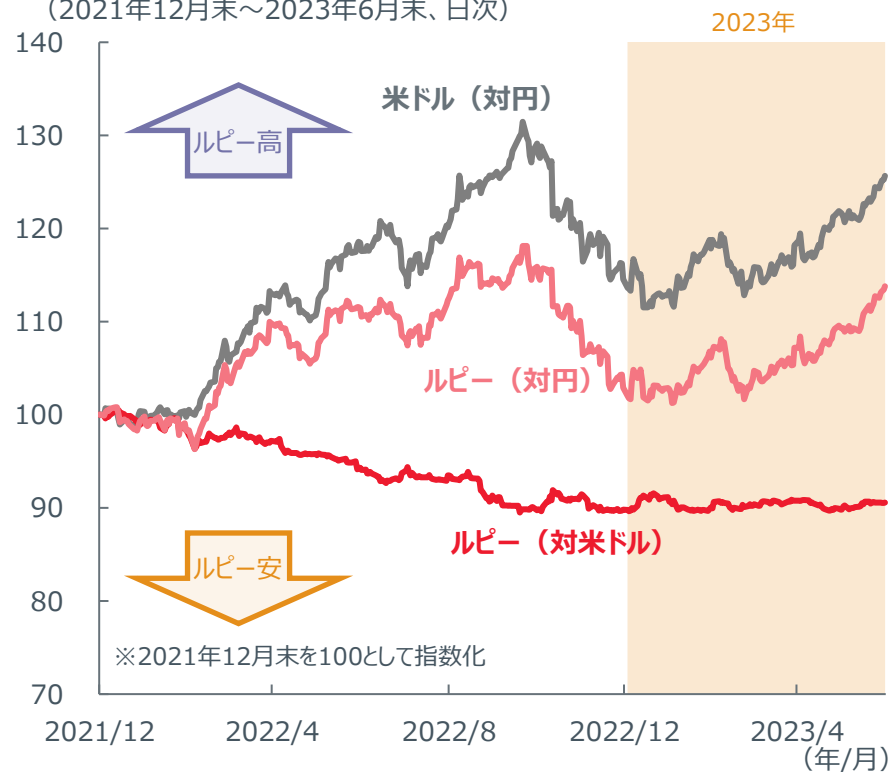
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに上昇

- 6月のルピーは、対米ドルで0.8%、対円では4.2%の上昇となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

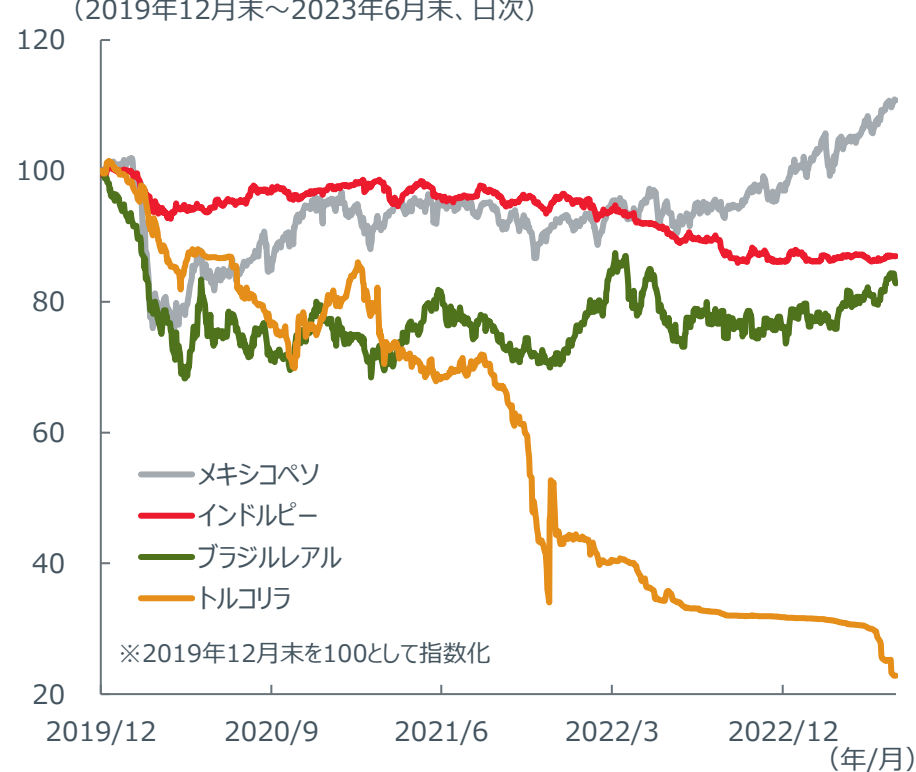
ルピー（対米ドル、対円）の推移

（2021年12月末～2023年6月末、日次）



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

（2019年12月末～2023年6月末、日次）



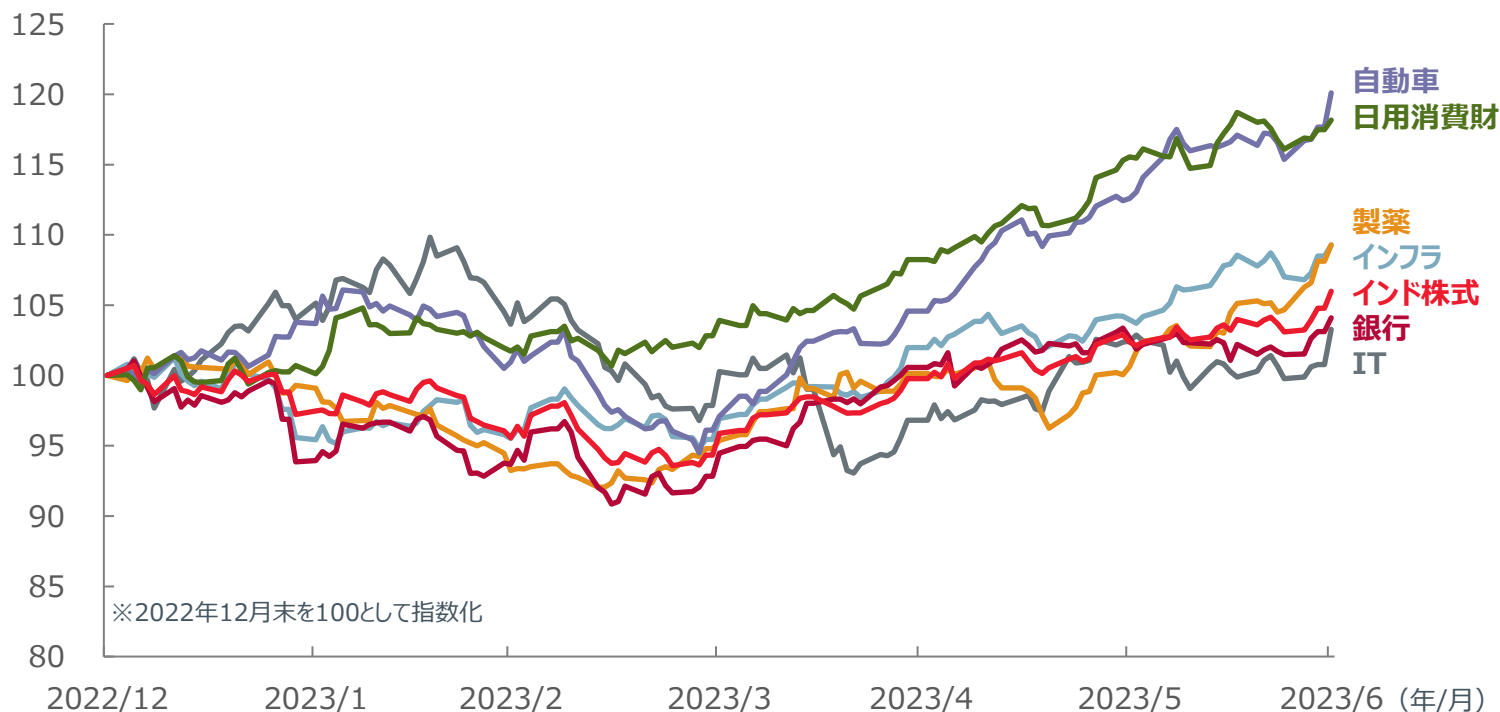
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

2023年前半：インド株式は最高値更新、消費関連セクターがけん引

- インド株式は、1月から3月にかけて、新興財閥アダニ・グループの不正会計疑惑や米欧の金融システム不安を背景に下落したものの、4月以降は良好な企業決算を好感した海外機関投資家による買いなどから堅調に推移し、6月に史上最高値（終値ベース）を更新しました。
- セクター別では、自動車や日用消費財など、消費関連セクターが相対的に堅調に推移しています。

2022年末以降のインド株式セクター指数の推移

（2022年末～2023年6月末、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 インド株式：Nifty50指数、各セクター指数：Nifty各セクター指数。全てプライス・リターン、現地通貨ベース。

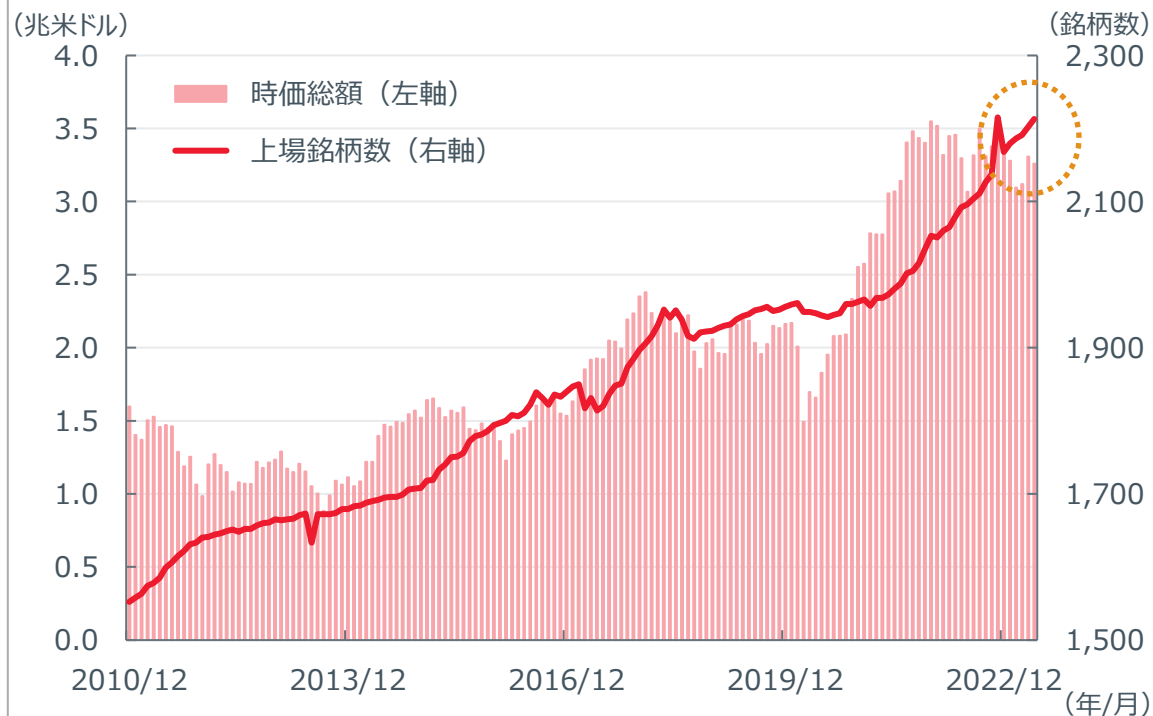
存在感高まるインドの株式市場

- 世界の株式市場におけるインドの存在感が高まっています。3月末以降、好調な企業決算を好感した海外機関投資家からの買戻しなどからインド株式市場は堅調に推移しており、インド国立証券取引所（NSE）*の時価総額は2023年5月時点で3.3兆米ドルと、ロンドン証券取引所を上回る規模となりました。

*インドのムンバイにある証券取引所で、1992年に開場。株価指数はNifty50など。そのほかインドの代表的な株式市場としては、ボンベイ証券取引所（BSE、株価指数はSENSEX指数など）などがある。

インド国立証券取引所の時価総額・上場銘柄数の推移

（2010年12月～2023年5月）



主要取引所の株式時価総額

（2023年5月、単位：兆米ドル）

取引所名	時価総額
NY証券取引所（米国）	24.3
ナスダック市場（米国）	20.1
上海証券取引所（中国）	6.9
ユーロネクスト	6.4
日本取引所グループ（日本）	5.6
深圳証券取引所（中国）	4.7
香港取引所（中国）	4.2
インド国立証券取引所（インド）	3.3
ロンドン証券取引所（英国）	3.1
サウジ証券取引所（サウジアラビア）	2.8
TMXグループ（カナダ）	2.8
ドイツ取引所（ドイツ）	2.2

出所：WFE（国際取引所連合）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

【ご参考】近年完成（予定）の大型インフラプロジェクト

チェナブ鉄道橋

世界で最も高い鉄道橋。東京タワーより高く、北部のジャンムー・カシミール州にあるチェナブ川上空359メートルに位置する。橋は2022年8月に完成。鉄道省によると、2024年1月までに鉄道交通が開通予定。



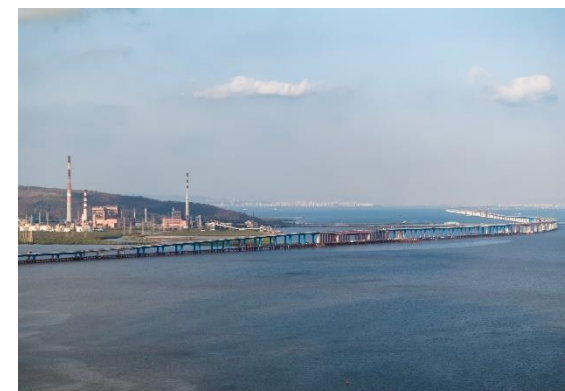
バドラ・ソーラーパーク

2020年に稼働を開始した世界最大規模の発電量を誇る太陽光発電施設。14,000エーカーの広さで、一日の発電容量は2,250MWにおよぶ。約450万世帯分の電力を供給している。



ムンバイ・トランス・ハーバー・リンク

全長22kmのインド最長の海上橋。現在開通準備中で、2023年末までに全面開通の予定。ムンバイ中心部のセウリからナビムバイのチルレまでの移動時間が2-3時間から20分程度に大幅短縮される予定。



出所：IBEF（India Brand Equity Foundation）、ICICIAM、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。